

公益財団法人 Altum 協会 令和 5 年度 事業報告

ゆるぎない軸と豊かな絆を持ち、他者を尊重し他者によりそうことができる人材の育成を目的に、兵庫県在住、在勤、在学又は出身等兵庫県につながりのある学生と社会人を対象に、学びと交流の場及び活動プログラムを提供した。

1. ライブラリー、寄宿舍、育成センター等の自己施設及びデジタル空間において学びと交流の場を整備し、提供する事業（定款第4条1）

① ライブラリー、寄宿舍、育成センター等の自己施設の整備と提供

番号	施設等の名称	概要	所有形態
1	セイドー文化センター	■所在 兵庫県芦屋市大槻町1-11 ■定員 研究個室（学生寮）定員15名 活動定員200名 ■設備 会議室、研修室、面談個室、食堂、居間、勉強室、図書室等 ■機能 レジデンス、ライブラリ、育成センター、本部	自己所有
2	ハウス104	■所在 兵庫県芦屋市東芦屋町12-12 ■定員 研究個室定員12名 活動定員80名 ■設備 会議室、研修室、面談個室、食堂、居間、図書室等 ■機能 レジデンス、ライブラリ、育成センター	自己所有

◆ 無駄なく行き届いた設備、清楚で家庭的な家具と調度品・「今」に集中できる空間を整備し、利用者に提供した

◆ 年間延利用者数25,000人

◆ 学生寮は月額11万円（食事・洗濯・掃除込）、研究宿泊施設は実費4000円/日、その他は無料

② デジタル空間の整備と提供

項 目	内 容
デジタル・アーカイブ利用者	利用者は、上記①の施設内のイントラネットで利用。外部リンクサイトや一部の内容はWebアクセス可能。利用にあたり、利用登録（無料）を行い、プログラムディレクター又はコーディネーターによるガイダンスを受けるものとする。コンテンツは随時利用可能。

コンテンツ (文字 動画 音声等のデジタル形式)	コンテンツの分野とタイトル例 ■ 軸と絆、他者尊重、寄り添い等の全般に関するもの： 「あなたがたを友と呼ぶ」、「友情を深める36の質問」、「対話の実践」等 ■ 自己認識に関するもの： 「自己認識とは」、「Working with People Who Aren't Self-Aware」、「もうひとりの私」、「リトリートが意味する“向き合う時間”」等 ■ 心理的柔軟性に関するもの： 「心理的柔軟性の尺度」、「ストレスを感じたらやるべきこと」、「疲れと休息」、「心理的柔軟性スキルとは?」、「心理的柔軟性を高める6つのアプローチ」、「The 'Triflex' Psychological Flexibility Assessment Tool」等 ■ 受容と対話に関するもの： 「困難を受容」、「ネガティブケイパビリティとは」 ■ 価値コミットに関するもの： 「価値を明らかにする」 ■ ユーモアに関するもの： 「対話におけるユーモアのちから」 ■ 自己超越に関するもの： 「自己超越とは何か」、「自己実現の呪縛」、「マズローの欲求五段階説と自己超越」 ■ 外部リンク先を含め現在コンテンツ1000程度
利用者へのサポート	プログラムディレクター及びコーディネーターは、使い方、技術的な問題等に関する利用者の質問に応えるとともに、利用者が今抱いている、求めている「問い」に見当をつけ可視化する手伝いをする事で、ふさわしいコンテンツを見出すサポートをした。

- ◆ デジタル・アーカイブは、ゆるぎない軸と豊かな絆、他者を尊重し、寄り添うヒントとなるコンテンツを整備し、今の状況に適切にフィットした形で利用できるサポートとともに提供
- ◆ オンラインでの活動プログラム参加者には、安定性とセキュリティを確保し、ストレスのない配信を行えるように機材やコミュニケーションチャンネルを整備し提供
- ◆ 年間延利用者数約5,000人
- ◆ 利用は無料

2. 学びと交流のための活動プログラムの開発及び提供を行うとともに、人材の育成に取り組む団体に助成をする事業（定款第4条2）

大きく9つの活動を実施した。

① サークル

社会が複雑・曖昧になり、正解が見あたらない状況に対処するため、問題の本質を捉え、解くべき課題を見出す課題発見力、問いを投げかけ創造的対話を促進するコミュニケーション力等の基幹となる習慣を学ぶ勉強会

プログラム名

開催日

場所

参加人数（延）

お試し	随時	オンライン	28
社会人	毎週 月 1930	ハウス 104	462
社会人	毎週 火 1900	セイドー文化センター	389
社会人	毎週 木 0915	セイドー文化センター	292
学生	毎週 日 1130	セイドー文化センター	187

【内容】 テーマの例

- ◆ VUCA：既存の知識、ルール、慣例等では対処できない現実に対処するのか
- ◆ あるがままを受け取り、価値にそって生きる
- ◆ 自分を縛る固定観念や、バイアス、雑音に気づく
- ◆ 自己認識と他者認識
- ◆ 癒やしと創造性に開かれた対話

【参加人数】 年間延1358人

【費用】 無料

② リトリート

日常生活から離れて、沈黙の中で、自分を見つめ直し、心身をリラックス・リフレッシュするとともに、注意力、集中力、ストレス管理等のスキルを向上させるエクササイズ

プログラム名	開催日	場所	参加人数（延）
社会人半日	第3土曜日	セイドー文化センター	126
若手社会人半日	第4木曜日	セイドー文化センター	49
社会人半日	第4日曜日	ハウス 104	102
社会人半日(英語)	第4日曜日	セイドー文化センター	58
学生半日	第3日曜日	セイドー文化センター	43
社会人4日	5月連休	奥芦屋スタディセンター	21
社会人4日	10月	奥芦屋スタディセンター	17
社会人4日(英語)	12月	奥芦屋スタディセンター	13
学生4日	12月	奥芦屋スタディセンター	14
社会人5日	12月26日～31日	奥芦屋スタディセンター	16

【開催日数】 半日コースは毎月実施。2泊～5泊のコースは年数回実施

【場所】 自己施設又は外部施設（とりわけ自然が豊かで静かな環境）

【内容】 講話による素材提供と、自由時間を各自がそれぞれの形で過ごすシンプルなもの。以下が講話例

- ◆ 今を生きる マインドフルネス
- ◆ あるがままを受け取り、価値にそって進む
- ◆ 自己認識を深めるための自分を振り返る習慣
- ◆ 光と風、外からのシグナルと時の印に気づく
- ◆ 無償で受け、無償で与える

【参加人数】年間延459人

【費用】 半日は無料 2日以上宿泊を伴うものは実費一泊あたり約9000円（個室3食込）徴収

③ オープン対話会

3人以上のくつろいだ雰囲気のもとで、参加者各自が立場にこだわらない対等性、ポリフォニック（多声的）な対話になるよう配慮することで、今の立ち位置や状況を異なった視点で眺め、新たな理解や創造的なひらめきを得るため、対話する「だんらん」の機会

プログラム名	開催日	場所	参加人数（延）
対話会 昼	毎日 1300-1330	ハウス 104	1549
対話会 夜	毎日 1830-1700	ハウス 104	2051
対話会 夜	毎日 2045-2115	セイドー文化センター	2393

【開催日数】 毎日1回30分 年間約1000回 開催

【場所】 自己施設

【内容】 話題は、事前に参加者の希望によるか、その場で自然に出てきた内容

【参加人数】 年間延4993人

【費用】 無料

【その他】 英語、西語にも対応

④ パーソナル面談

利用者ごとにプログラムディレクター・コーディネーターの中から特定の担当者を決め、コーチング、メンタリング、よりそい等の要素を持つ対話を通じて、自らが大切にしたいと思っている価値を確認し、価値に沿って取り組む習慣を作るため、一対一で定期的に行う対話の活動

プログラム名	開催日	場所	参加人数（延）
パーソナル面談	随時	ハウス 104・/ オンライン	1070
パーソナル面談	随時	セイドー文化センター / オンライン	2451

【開催日数】 各自ほぼ毎週1回

【場所】 自己施設又は外部施設。オンライン対応

【内容】 今やっっていることを眺め、変えられないことを受け入れ、変えられることを自らの価値にそって取り組む、以上に関する限りどんな話題でもとりあげた

【参加人数】 年間3521人

【費用】 無料

【その他】 英語、西語にも対応

⑤ フォーラム

社会起業家、演劇・映画監督、俳優、学者、芸術家、建築家、彫刻家、音楽家、コンサルタント、アスリート、セラピスト、外交官等の専門家を招き、困難な状況においても、楽観性、笑い、ユーモアを持ち、あきらめず挑戦をつづける励ましを受け、自らが大切にしたい価値に気づく、ことなどを目的する

プログラム名	講師	場所	参加人数
--------	----	----	------

トマス・アクイナスの神学大全の第2部徳論の部分を読みながら、習慣形成に関するヒントを学ぶ	山本芳久 東京大学教授	セイドー文化センター / オンライン	68人
--	----------------	--------------------	-----

【開催日】 2023年9月23日

【場所】 自己施設/外部施設

【内容】 中世哲学を代表する聖トマス・アクイナス研究の第一線にいる山本教授により、トマスが習慣及び徳をどのように捉え、善徳をみにつけるヒントの提供を行い、参加者との対話を行った

【参加人数】 68人

【費用】 無料

【その他】 英語、西語にも対応

⑥ 体験会・探求ツアー

新しい視点、気づき等を得るためにツアー、博物館・美術館等見学、山歩き等を行う活動

プログラム名	開催日	場所	参加人数（延）
大塚国際美術館ツアー-	2023年8月14日	鳴門市	26人
元町・中華街-メリケンパーク-東公園	2023年8月21日	神戸市	13人
虚子記念文学館ツアー-	2024年2月18日	芦屋市	8人

【開催日数】 日帰り企画として年3回実施

【場所】 外部施設及び野外

【内容】 美術館や博物館、自然公園等を訪問することで、課題解決の手がかりを掴む

【参加人数】 47人

【費用】 実費（移動費と入場料等）

⑦ ボランティア

全てを生産性、成果、パフォーマンスで評価する社会の中で、無償で与え、無償で受けることはひどく難しいこととなった。ボランティア体験を通して、無償性のロジックを発見し学ぶ活動

プログラム名	開催日	場所	参加人数（延）
西成地区 炊き出しボランティア	毎月第3土曜日	大阪府大阪市	94
途上国貧困地区サービスプロジェクト	8月12日～28日	フィリピン国マニラ市	11

【開催日数】 日帰りボランティアは、月1回、16日間の海外ボランティアは、年1回開催

【場所】 外部施設若しくは野外

【内容】 一人暮らしの老人よりそい、農業学校教室のペンキ塗り、路上生活者への炊き出し等

【参加人数】 延105人

【費用】 無料、但し海外ボランティアは実費相当6,000円/日（移動費・食費・宿泊費、航空運賃は別）

⑧ 連携・助成

世界中のNPO、NGO、公益法人、ビジネススクール、国際組織等と連携協力したプログラムを行うとともに、人材の育成に取り組む団体に助成プログラムで支援する活動

プログラム名	開催日	場所及び概要	参加人数
ファミリー育成ワークショップ(日本ファミリー育成協会と共催)	毎月第2と第4日曜日	セイドー文化センター又は外部施設	延 181 人数
ヨーロッパリーダーシッププログラム (ELP)	3 月 23 日～4 月 2 日	IESE ビジネススクールと連携した、リーダーシップとマネジメント入門プログラム	9 人
「沖に乗り出す取組」 助成プログラム	1 ～ 3 月 募集	兵庫県内で活動する団体組織（法人格の有無や種類は不問）を対象とし、自分の安楽で居心地の良い場所から外に出向き、境界線を超え、他者に自らを差し出すことを促す活動・事業に助成。選考結果 1 団体の事業に決定	助成 1 団体（1 事業）

【内容】 連携協力プログラムは、外部の団体組織の比較優位性を生かして実施。助成プログラムは、参加者が自身のコンフォートゾーンから一歩出る取り組みを主として支援した

【費用】 ファミリー育成ワークショップは、1000円/日、ELPは実費相当10,000円/日（移動費と宿泊費、航空運賃は別）

⑨ 複合活動

一定の参加者の状況やニーズに応じて、上記の活動を基本パーツとし、複数の活動を組み合わせ一連のコースとした活動プログラム

プログラム名	開催日	場所及び概要	参加人数（延）
体験コース	随時	始めて参加する人々に、オリエンテーションと意向確認後、プログラムディレクターが参加者のニーズと状況から好ましいと判断する場合に、リトリート、オープン対話会、パーソナル面談の3つの活動を一定期間経験し、参加者のフィット感と望みを特定するコース	延 114 人
集中コース	8 月 10 日～31 日	一定の参加経験を持ち、成長と成熟を促し、より創造的・効果的に生きることを目指す人を対象に、サークル、リトリート、レクチャー、オープン対話会、パーソナル面談等を選定し、パッケージした集中コースを実施した。	延 420 人

【費用】 体験コースは、無料。集中コースは、実費相当6,000円/日（宿泊費と三食）

3. その他 目的達成のために必要な事業（定款第4条3）

特になかった。

以上